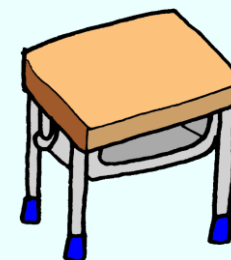




婦 中 地 域



市立小・中学校の
将来のあり方について

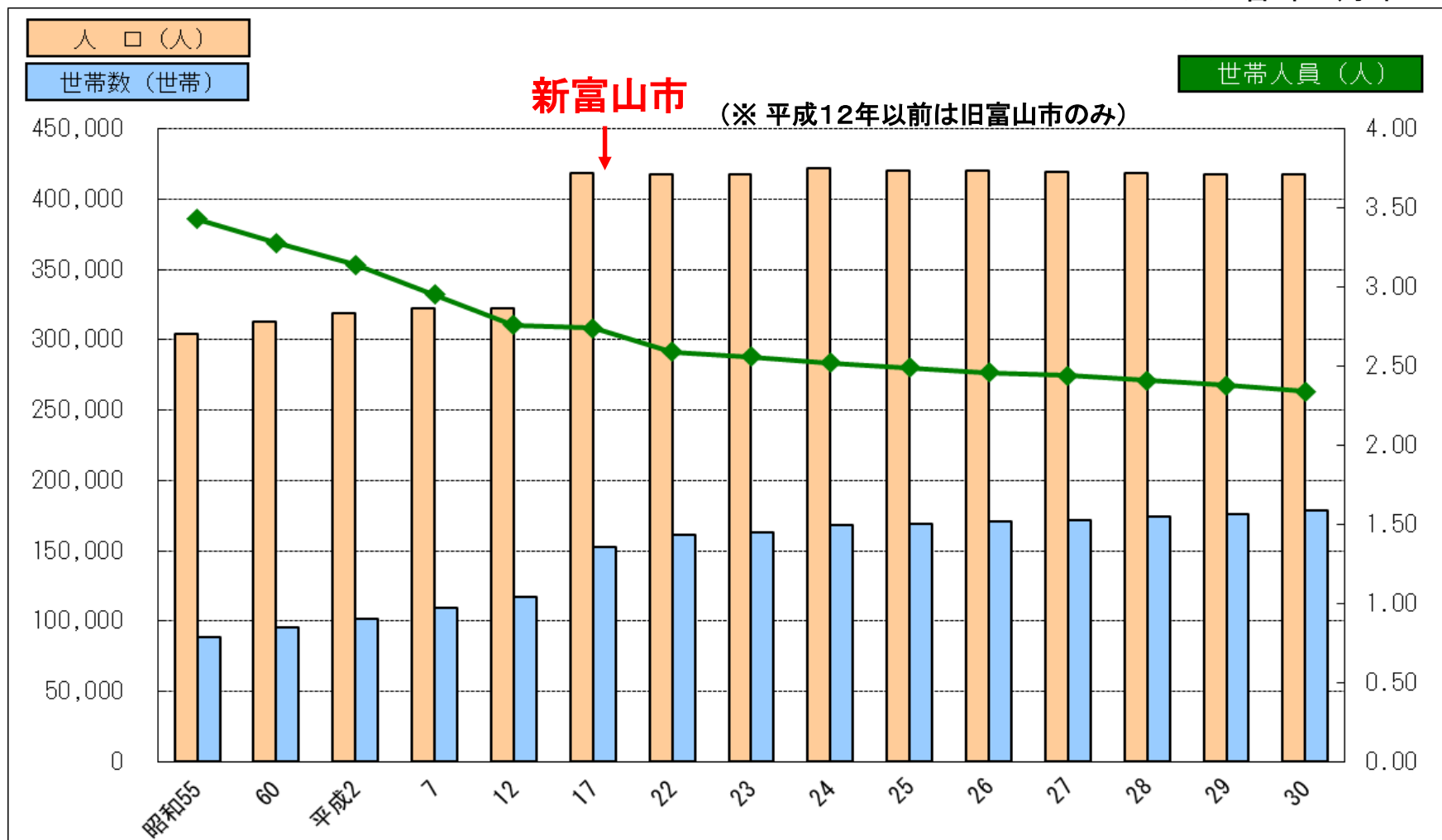


富山市教育委員会

1 富山市全体の状況

(1) 人口の推移

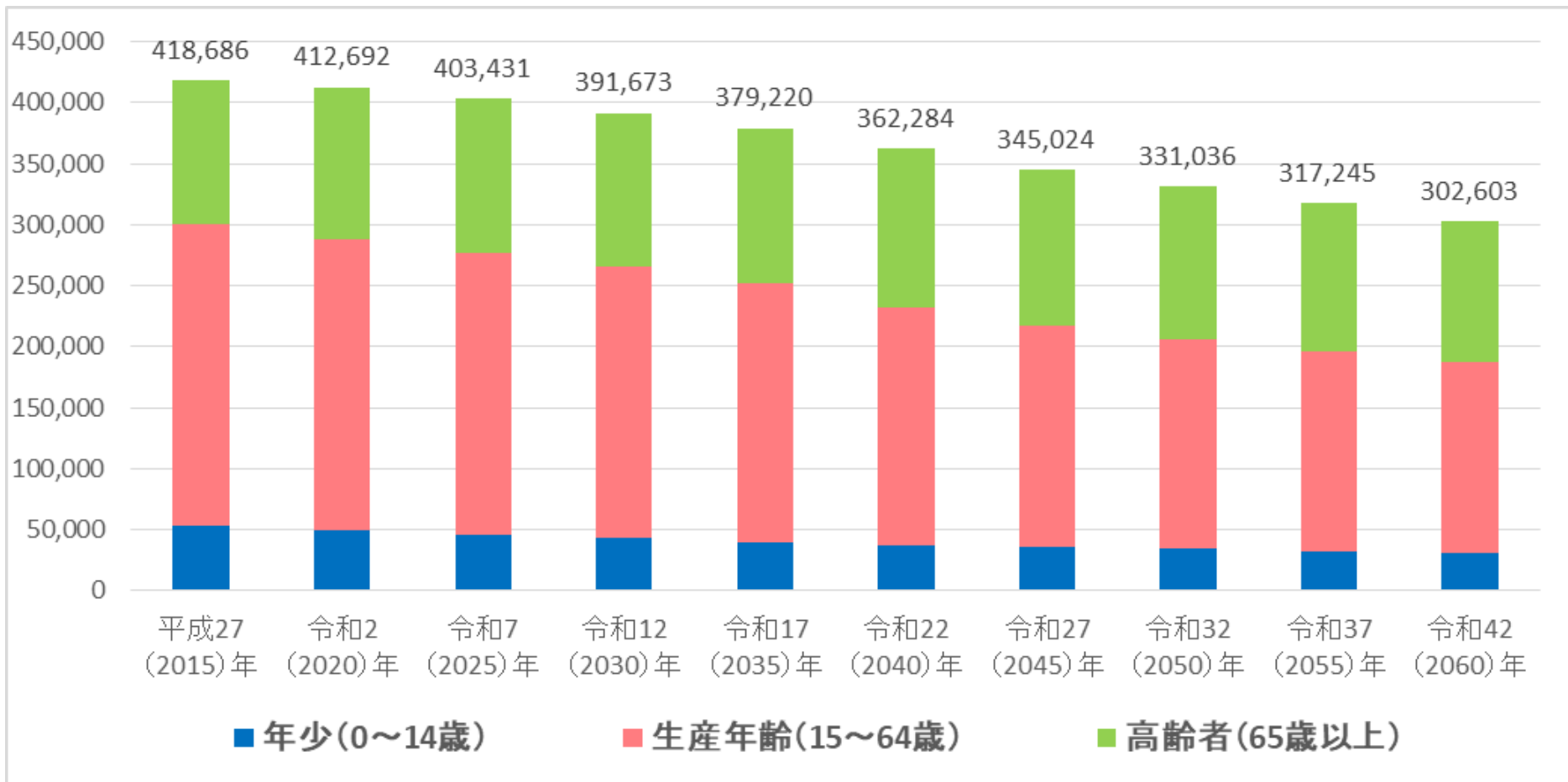
※ 各年9月末



1 富山市全体の状況

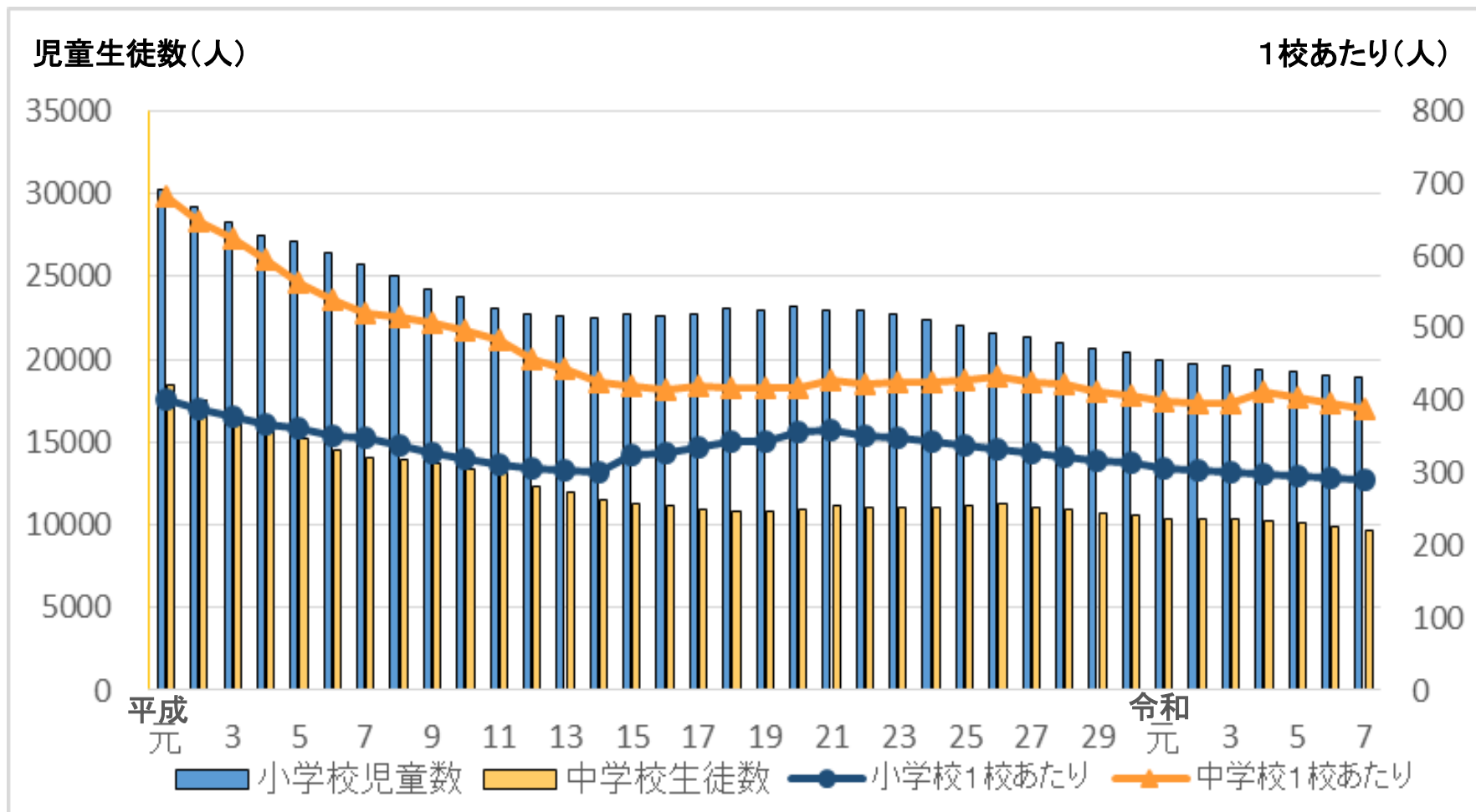
(1) 人口の推移

人口(人)



1 富山市全体の状況

(2) 市立小・中学校の児童生徒数の推移



1 富山市全体の状況

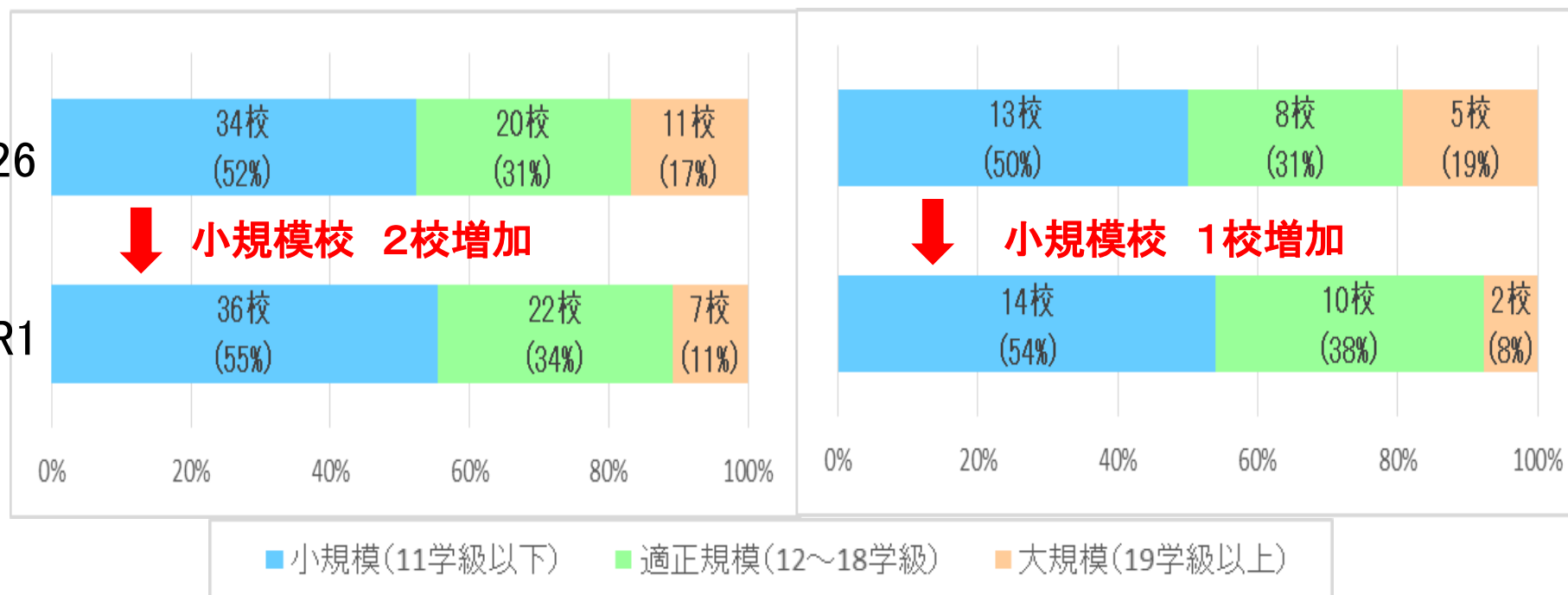
(3) 市立小・中学校の学校規模

標準（適正規模）：1校あたり12～18学級

(※学校教育法施行規則)

小学校

中学校



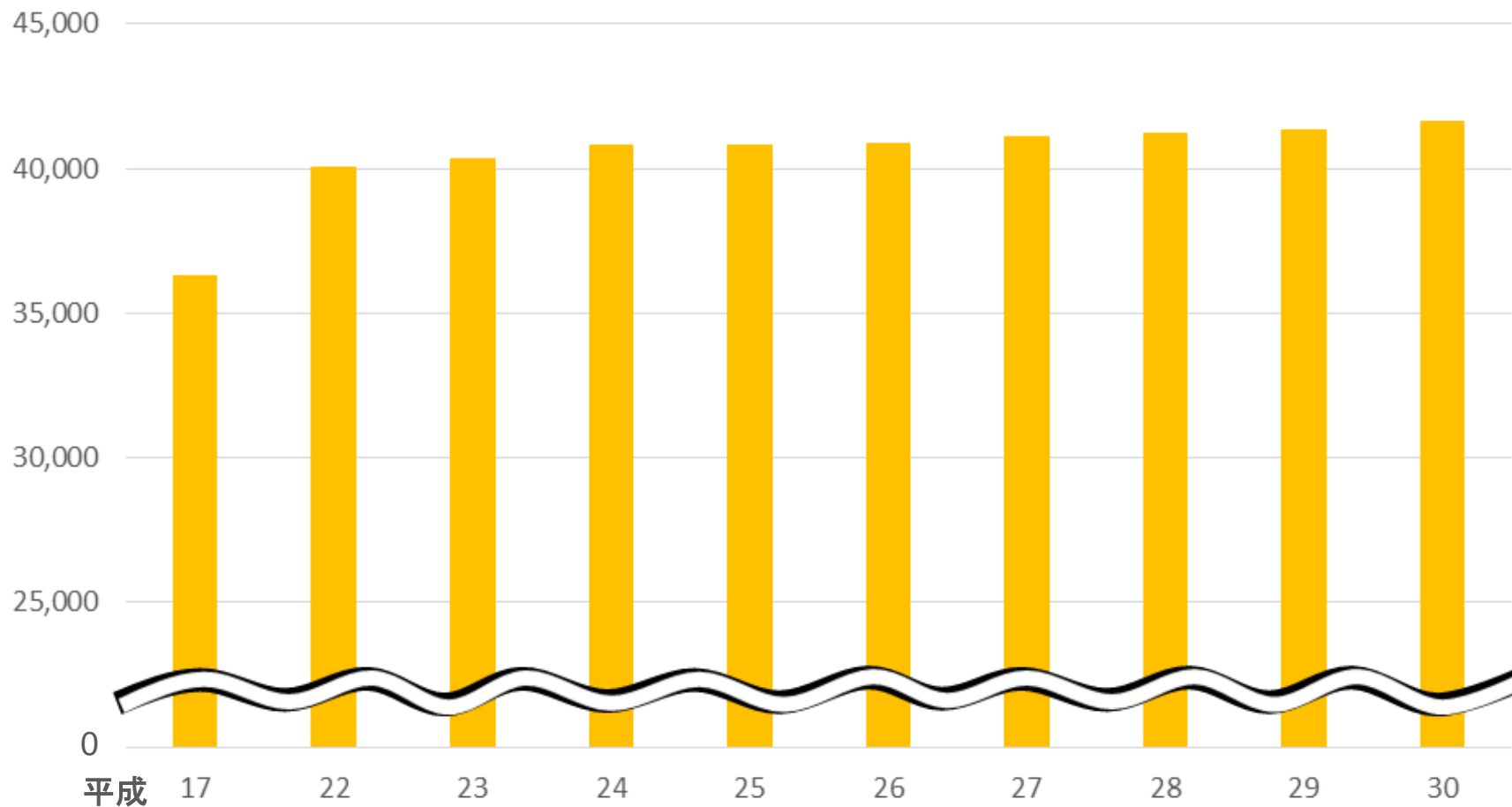
市立小・中学校の5割以上が小規模校

2婦中地域の状況

(1) 人口の推移

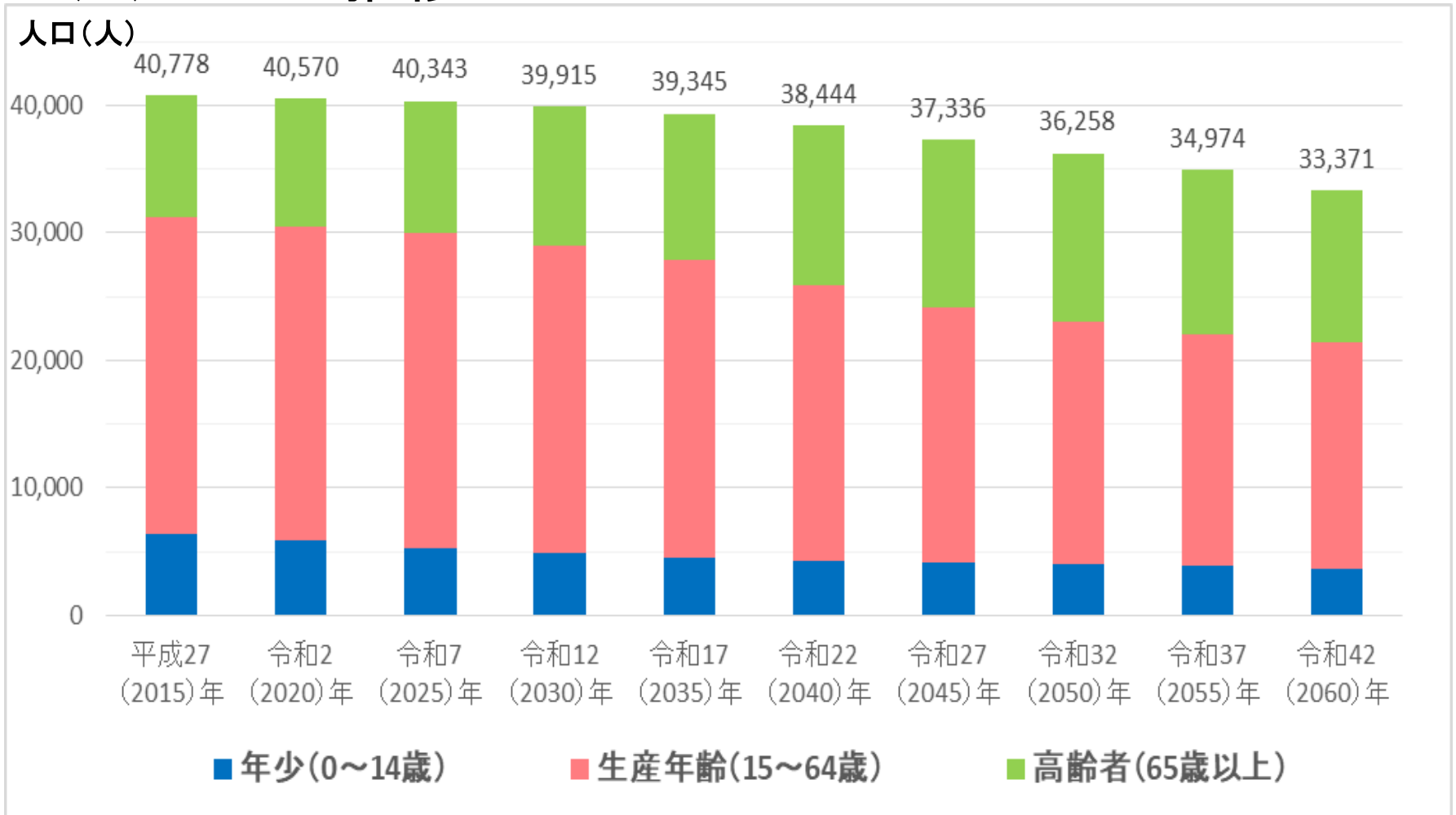
※ 各年9月末

人口(人)



2婦中地域の状況

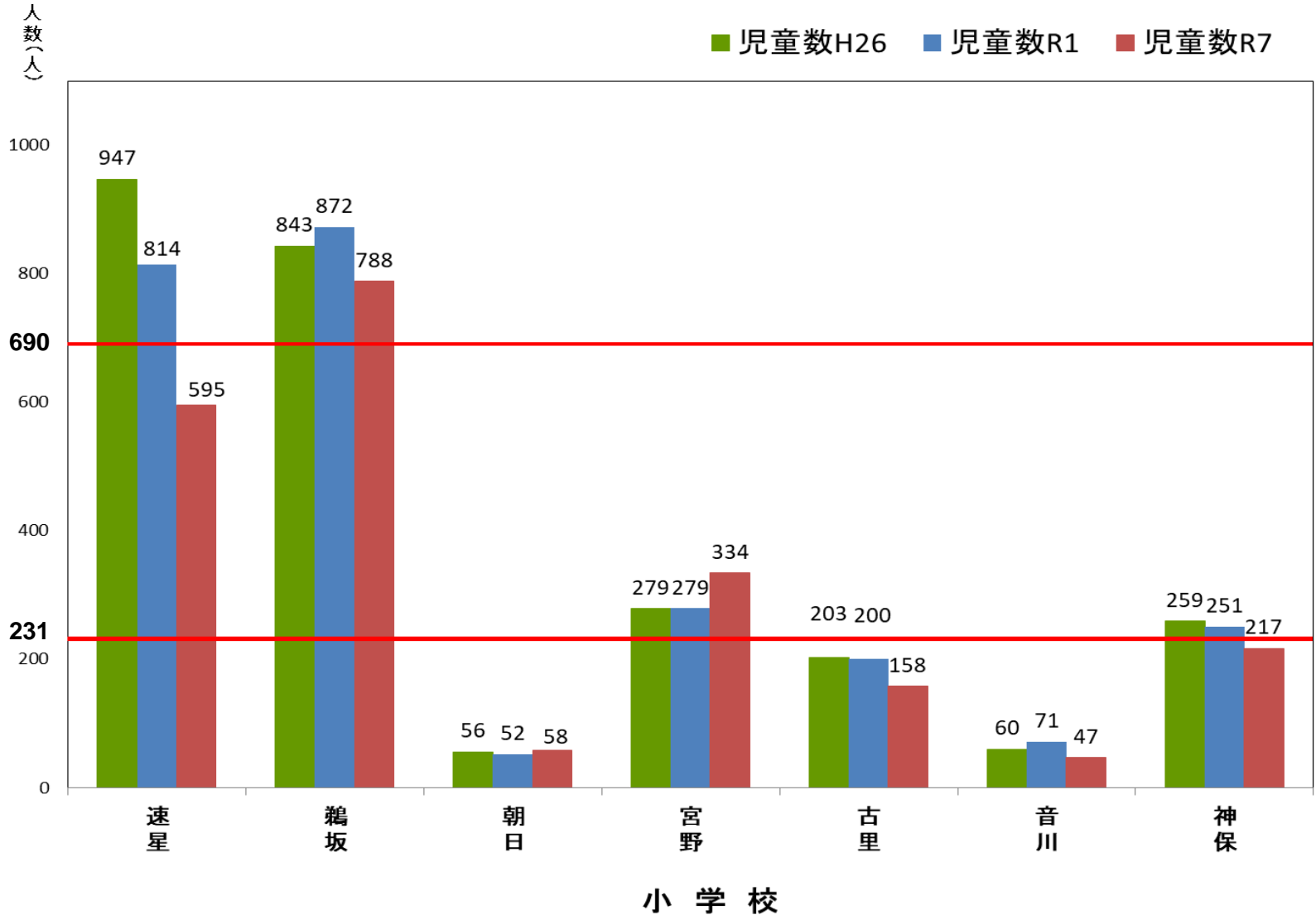
(1) 人口の推移



※「富山市公共施設マネジメント アクションプラン戦略編」の人口推計を基に作成

2婦中地域の状況

(2) 児童生徒数の推移(見込み)

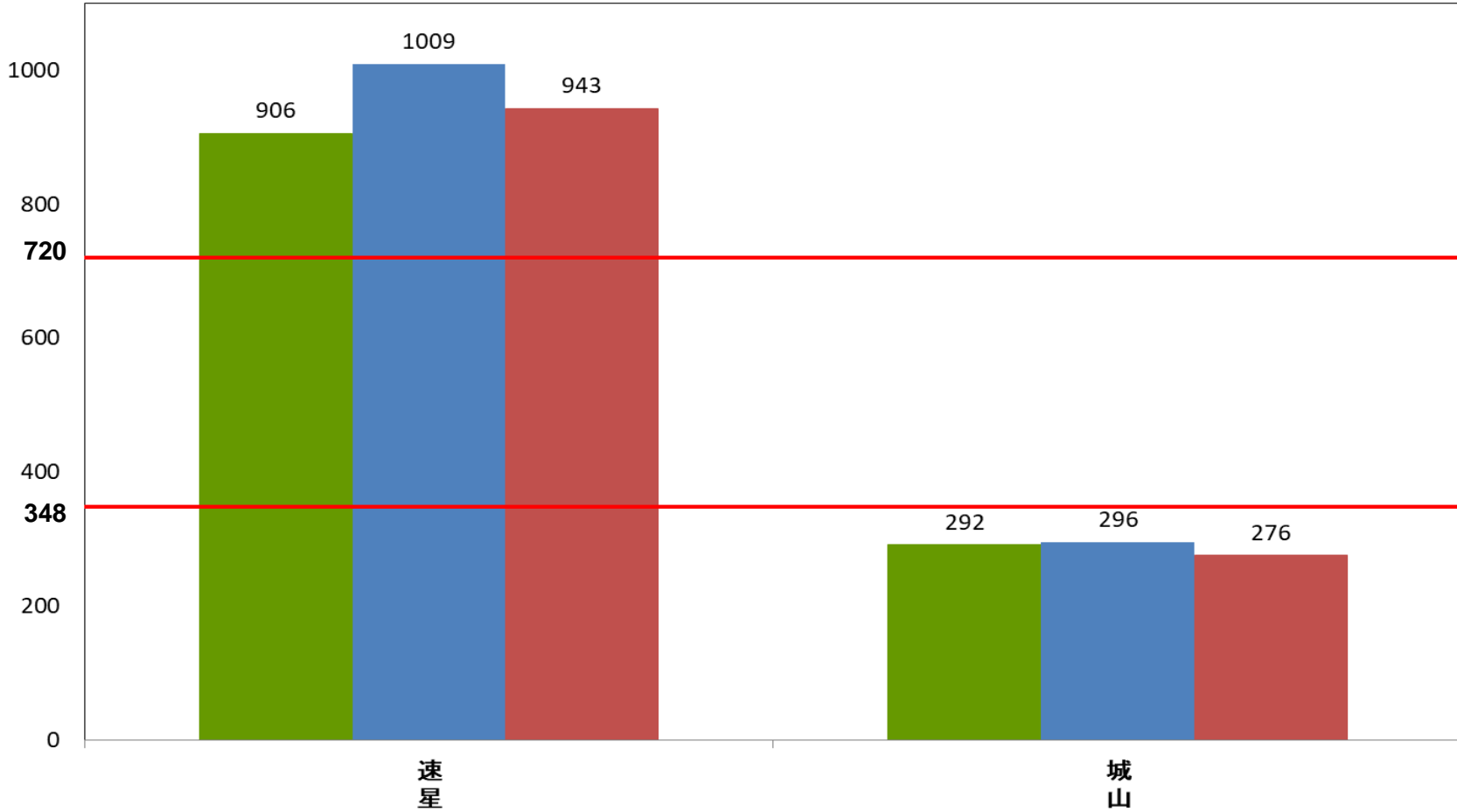


2婦中地域の状況

(2) 児童生徒数の推移(見込み)

人数(人)

■ 生徒数H26 ■ 生徒数R1 ■ 生徒数R7






2 婦中地域の状況

(3) 学校規模の推移(見込み)

児童数(人)

 複式学級

小学校	年度	学級数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
速星小	H 2 6	28	164	170	149	164	172	128	947
	R 1	23	99	125	126	139	163	162	814
	R 7	18	93	98	106	86	98	114	595
鵜坂小	H 2 6	25	142	148	142	151	140	120	843
	R 1	26	133	132	148	172	142	145	872
	R 7	23	126	124	129	149	112	148	788
朝日小	H 2 6	4	10	4	10	10	3	19	56
	R 1	5	11	12	6	4	9	10	52
	R 7	6	8	10	13	9	9	9	58
宮野小	H 2 6	10	45	50	36	40	44	64	279
	R 1	11	55	46	48	48	37	45	279
	R 7	12	56	66	52	50	58	52	334
古里小	H 2 6	8	22	35	30	48	34	34	203
	R 1	8	32	39	34	30	42	23	200
	R 7	6	25	17	24	35	24	33	158
音川小	H 2 6	5	14	11	11	10	10	4	60
	R 1	6	8	12	18	13	7	13	71
	R 7	5	4	6	7	9	7	14	47
神保小	H 2 6	11	34	43	44	44	50	44	259
	R 1	10	42	40	51	34	48	36	251
	R 7	7	29	31	46	36	36	39	217

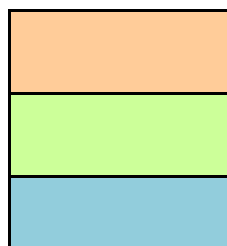
 大規模 (19学級以上)
  適正規模 (12~18学級)
  小規模 (11学級以下)

2 婦中地域の状況

(3) 学校規模の推移(見込み)

生徒数(人)

中学校	年度	学級数	1年生	2年生	3年生	合計
速星中	H 2 6	24	312	299	295	906
	R 1	26	349	325	335	1,009
	R 7	25	300	315	328	943
城山中	H 2 6	9	107	95	90	292
	R 1	9	96	92	108	296
	R 7	9	81	93	102	276



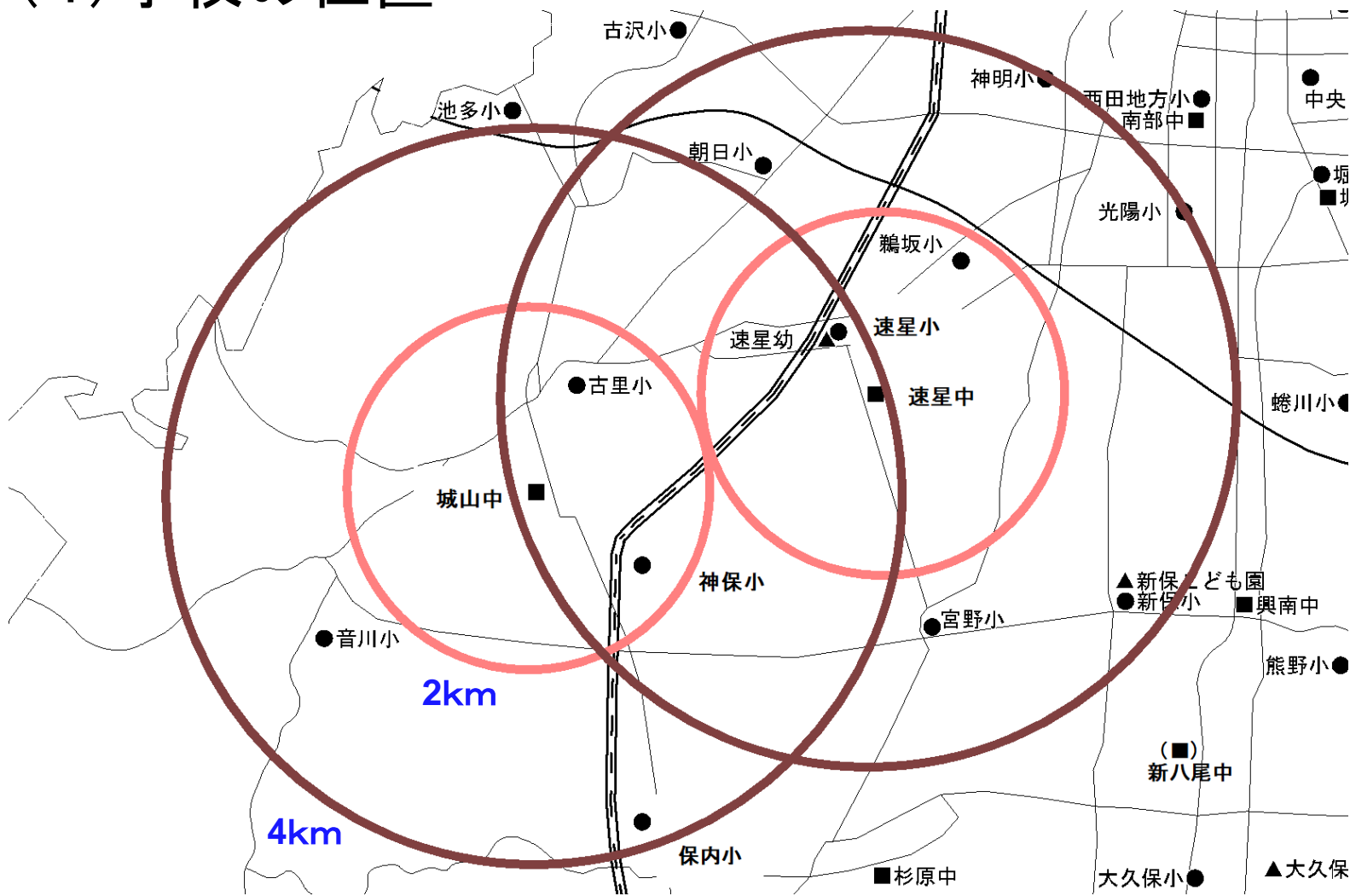
大規模 (19学級以上)

適正規模 (12~18学級)

小規模 (11学級以下)

2婦中地域の状況

(4) 学校の位置



2婦中地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

速星小

H21 校舎増築竣工

H26 校舎増築竣工

H29~R1 校舎改築(その1)工事

鵜坂小

H22 校舎増築竣工

H29 教室増床

朝日小

S56 校舎改築竣工

H28 小規模特認校に認定

R1~2 プール改築工事

宮野小

H11 校舎新改築竣工

2婦中地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

古里小

H20 校舎改築竣工
R1 プール改築完成

音川小

H12 校舎新改築竣工
R1~2 プール改築工事

神保小

S61 校舎改築竣工

2 婦中地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

速星中学校

H29 校舎大規模改造及び増築竣工

H30~R1 屋内運動場建設事業実施設計

城山中学校

H16 城山中学校と音川中学校が統合し、
城山中学校となる

H19 校舎改築竣工

3 小規模校における教育

(1) 小規模校のよさ

- 一人ひとりの子どもに対して、きめ細かな指導ができる。
- 学校行事で子どもたちの活躍の場が多い。
- 他学年や地域の方と交流活動がしやすく、親交を深められる

3 小規模校における教育

(2) 小規模校の課題

小・中学校共通

- クラス替えがないため、多様な考えに触れる機会や、社会性や規範意識を身につける機会が得られにくい。
- 体育のバスケットボール等の団体競技や音楽の合唱等が行いにくい。
- 経験年数、専門性、男女比など、教員をバランスよく配置できない。

3 小規模校における教育

(2) 小規模校の課題

小学校

- 複式学級となる場合には、教員が複数学年分の指導準備を行うこととなり、各学年へのきめ細かい指導が行いにくい。
- 教務主任が学級担任を兼務するなど、一人の教員にかかる負担が大きくなる。

中学校

- 9教科10科目すべての教員がそろわず、一部の教員が専門以外の教科の授業を行わなくてはならない。

※ 教科担当教員の配置 1校3学級→6人

⇒ 9教科10科目の対応が難しい

- 開設できる部活動の数に制約が生じる。

4 適正規模、適正配置に向けた取り組み

(1) 小規模校

- ① 学校の統合
- ② 学校選択制の導入
- ③ 小規模特認校制（朝日小）
- ④ 通学区域の見直し

(2) 大規模校

- ① 学校の分離
- ② 施設の増築
- ③ 通学区域の見直し

5 学校規模に起因する デメリット緩和に向けた手段

(1) 小規模校

- ① 教員の加配置や複数校兼務
- ② 小中一貫教育、義務教育学校
- ③ ICT機器の活用

(2) 大規模校

- ① 教員の加配置

おわりに



児童生徒数の減少に伴い、学校の統廃合は将来的に避けて通れない大きな課題です。

学校の標準規模化を図るなど、次代を担う子どもたちにとって、地域・保護者・教育委員会が一体となって、よりよい教育環境となるよう考えていく必要があります。

